

加入員・受給者・加入を検討中の皆様へ

国民年金基金の合併（検討）について

日本薬剤師国民年金基金

国民年金基金では、平成31年4月を目途に、全国47都道府県の地域型基金と、職業別に25ある職能型の基金のうち希望する基金による合併を検討しています。

詳細は、これから検討してまいります。基本的な考え方は次のとおりです。

1 合併の主な目的

① 加入員や受給者の皆様の利便性の向上

現在、都道府県を越えた住所移転や職業変更を行うたびに必要であった脱退・加入手続等が住所変更届だけで済むなど、手続きが大幅に簡素化され、加入員や受給者の皆様の利便性が高まることとなります。

② 事業運営基盤の強化

各基金が合併し、規模を大きくすることにより運営の基盤が安定し、地域の人口変動、少子高齢化や産業構造の変化など、基金を取り巻く経済社会環境の変化にも余裕をもって対応することができ、皆様のご安心に繋がります。

③ 事業運営の効率化

合併することにより、各基金が別々に行っている事務を集約したり、加入勧奨を統一的な戦略で全国展開するなど、業務を効率的に行います。

2 合併に当たっての基本的な考え方

- ① 国民年金基金では、加入の際に、加入した時期、加入時の年齢に応じ、掛金額と給付額を契約しましたが、今回の合併に際して、この契約は、そのまま、全国基金に引き継がれるので、

「加入員が支払う掛金や受給者が受け取る年金額は一切変更はありません。」

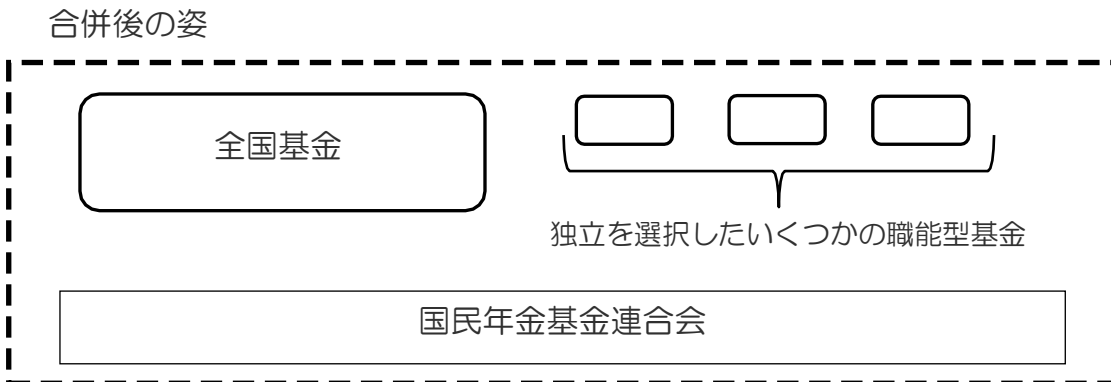
また、税制上の取扱いにも変更はありません。

- ② 基金によって財政状況は異なりますが、今回の合併は、個別基金間の利害を超えて、いわば大同団結として、各基金が現に持っている資産や債務をそのまま全国基金に持ち寄る形で行うこととしており、

合併に伴って「加入員・受給者の皆様に新たな負担は一切生じません。」

- ③ 職能型基金は、将来の財政見通しを踏まえて、独立するか、全国基金に合流するかを判断します。

3 合併のイメージ



以上が合併の概要です。今後、検討された結果等につきましては、極力丁寧に皆様に情報提供してまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。